

「春休み電波教室」を開催

～ 放送局、携帯電話基地局設備、電波監視施設などを見学 ～

テレビスタジオではカメラを操作。“もっとアップに？”



総務省中国総合通信局(局長:齊藤一雅)では、広島市こども文化科学館との共催により、平成26年3月27日(木)、広島市において「春休み電波教室」を開催しました。

この教室は、次の時代を担う子どもたちに、電波を利用する施設や設備を見学しながら、それらの仕組みや電波の原理を理解していただくとともに科学や技術に対する興味を持っていただくことを目的に開催したものです。

当日は、小学生21名を中心にその保護者の方々など合計35名にご参加いただき、(株)中国放送及び(株)NTTドコモの協力を得て、テレビ・ラジオ放送局の施設や携帯電話用移動基地局車のほか、中国総合通信局の電波監視施設・中型移動電源車の見学を行うとともに、電波の仕組みや免許の制度などについても勉強しました。

今回は、徒歩で移動できる範囲で見学コースが設定されました。また、春らしい暖かなお天気にも恵まれました。場所によっては、業務の関係上、見学時間が限られるといったことなどもありましたが、テレビカメラなど本物の機器に実際に触れる機会ももうけられ、子どもたちも歓声を上げたり、積極的に質問するなど、楽しく熱心に勉強していました。また、同行の保護者の方々からもご好評をいただきました。

近年、電波の利用はますます高度化し、高機能の携帯電話や移動受信が可能な地上デジタルテレビなどが日常生活に浸透する一方で、電波そのものについて理解したり勉強したりする機会は少なくなっています。

そうしたことから、次の時代のわが国の国際競争力を高める観点からも若い世代の育成が重要です。

例えば、アマチュア無線を通じて自ら電波を発射する経験を持つたり、アマチュア無線の国家資格の受験を通じて、子どもたちが自信と誇りをもって科学を学ぶことをお勧めするなどの取り組みも考えられます。

中国総合通信局では、今後も、地域の皆様、特に若い世代の皆様との関係を大切にして、様々な施策に取り組み、地域の発展に貢献していきたいと考えております。

この見学会の様子は動画(中国総通局チャンネル)でも配信しています。

<https://www.youtube.com/watch?v=6uzro0mMKGY>

携帯電話基地局車と移動電源車



こわごわ
電波監視施設を見学



少し難しいお話も
笑いを交えながら



お問い合わせ先:無線通信部企画調整課 082-222-3355